

毎月1回、様々な切り口から人形浄瑠璃の魅力に迫る

人形浄瑠璃とくしま座公演



5月の公演 平成27年5月10日(日) 15:30~17:00

●人形浄瑠璃講座

「三番叟」の持つ意味

「翁」「千歳」に続き3番目に登場することから名付けられた「三番叟」は、天下太平、五穀豊穰を祈願するご祝儀の舞です。

土の中に潜む悪霊を追い払うため、足を高く上げて大地を踏みしめ、稲穂をかたどった鈴を振り種をまく。そして長寿を象徴する鶴亀の舞。二人の三番叟がへトへトに疲れるまで踊る、おなじみの三番叟を徹底解剖します。今回は、勘緑さんが三番叟を遣います。

●人形浄瑠璃とくしま座公演

「寿二人三番叟」「新作えびす舞」



勘緑(浄瑠璃人形遣い)

人形浄瑠璃の普及・発展と文楽人形の新しい可能性を求めて、平成24年1月、33年間在籍した文楽座を辞しフリーの人形遣いに。主宰する「木偶舎」での公演活動のほか、全国各地の人形芝居の指導・演出や、徳島県の農村舞台復活にも積極的に取り組んでいる。平成20年4月から、人形浄瑠璃とくしま座芸術監督。



人形浄瑠璃とくしま座

平成19年の国民文化祭で瀬戸内寂聴原作の新作人形浄瑠璃「モラエス恋遍路」を上演するため公募で結成したモラエス人形座を母体に、平成20年4月に発足。勘緑師匠の下で研鑽を積み、各地で公演活動を行っている。



※次回は6月14日(日)の15:30~17:00

会場 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷
徳島市川内町宮島本浦 184
Tel.088-665-2202、Fax.088-665-3683
<http://joruri.info/jurobe/>
入場料 一般410円、高・大300円、小・中200円
主催 阿波十郎兵衛屋敷+人形浄瑠璃とくしま座